

新型コロナウイルス感染症対策における

受検上の注意事項(2022.12.1～)

1. 試験会場の入口及び施設内に、石けん及び消毒用アルコールを設置する等、手指の衛生を保つことができる環境を整備してください。(試験が企業会場の場合のみ)
2. 適切な環境維持のため試験会場の換気を心掛けるとともに、空調や衣服による温度調節を含めて湿度、温度の管理に努めること。試験中においても、試験の実施に支障が生じない範囲で換気に努めることとし、必要に応じ「感染拡大防止のための効果的な換気について」(令和4年7月14日付、新型コロナウイルス感染症対策分科会)も参考にすること。(試験が企業会場の場合のみ)
3. 試験の配席・配置に当たっては、原則として受検者相互に1メートル程度(マスクを着用する場合。マスクを着用しない場合は2メートル程度)の間隔を取るよう配席・配置を行うこと。(試験が企業会場の場合のみ)
※実技試験の内容によって上記の間隔をとることが困難な場合は、マスク着用、アルコール消毒など他の感染防止対策を徹底し、実技試験の実施に支障がない範囲で間隔をとることとして差し支えありません。
※受検者間にアクリル板、透明ビニールカーテン等を設置することも有効ですが、実技試験の作業内容によっては火災を発生させるおそれがあるので、事前に安全性を検証してください。
4. 実技試験において共用する機器については、原則として受検者が使用するたびに消毒してください。
5. 試験会場内の休憩スペース、食事スペース等において人が密集することがないように、一度に使用する人数を減らし、相互に間隔を取る等の措置を行ってください。(試験が企業会場の場合のみ)
6. 試験会場内での人の移動により受検者等が密集することのないよう、あらかじめ周知しておいてください。
7. 発熱又は風邪の症状がある場合は受検を自粛していただく場合があります。
8. 会話をする際は、可能な限り真正面を避け、症状がなくてもマスクを着用してください。(マスクは必ず持参すること) ※試験上関係のない私語は控えてください。
9. 別紙「新型コロナウイルス感染症対策シート(提出用)」へ必要事項を本人が正確に記入し試験当日の受付時に当協会関係者へ提出してください。(試験当日の朝に体温測定をしてきてください)
10. 試験前後に新型コロナウイルス感染症の疑いが発生した場合は早急にご連絡ください。
11. 以上の内容を試験関係者(監理団体、企業、受検者等)の皆様にはご理解くださるようお願いいたします。またご不明点等あればご連絡ください。